

## 令和 4 年度（2022 年度）エゾシカの推定生息数等について

## 1 推定生息数

R5. 8. 3 公表（単位：万頭）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	前年度比
推定生息数	77	72	70	68	68	68	67	65	67	67	69	72	+3
東部地域	39	37	37	36	35	34	33	32	32	31	31	32	+1
北部地域	38	35	33	32	33	34	34	33	35	36	18	19	+1
中部地域											20	21	+1
南部地域	1～4	1～4	2～5	2～6	2～7	2～8	2～9	2～10	3～12	3～13	3～15	3～18	—

※令和 4 年度推定生息数は、前年度生息数に捕獲頭数と自然増加頭数を考慮して算出した暫定値である。

※東部地域（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）、南部地域（後志、渡島、檜山）。北部地域及び中部地域は、令和 2 年度まで旧西部地域として集計。

## 2 捕獲状況（全道）

R5. 8. 3 速報（単位：万頭）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 速報	前年度比
捕獲数	13.8	14.4	13.2	13.7	12.5	12.0	12.8	11.2	10.7	13.0	14.3	14.1	-0.2
うちメス	8.5	9.1	8.5	8.7	7.7	7.3	7.5	6.2	5.8	7.1	7.7	7.7	±0
内 狩猟	6.8	6.9	4.6	4.4	3.9	3.9	4.0	3.2	2.8	3.2	3.4	3.2	-0.2
許可	6.9	7.5	8.6	9.3	8.6	8.1	8.8	8.0	7.9	9.7	10.9	10.9	±0

※四捨五入の関係で、捕獲数の合計が合わない場合がある。以下、捕獲目標数と農林業被害額についても同じ。

## 3 捕獲推進プラン目標数（全道）

R5. 8. 3 公表（単位：万頭）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
捕獲目標数	14.3	14.3	14.2	14.2	14.0	10.9	13.8	14.1	14.1	16.3	16.3	18.5	18.5
うちメス	—	—	9.1	9.1	9.8	6.7	8.6	8.7	8.7	8.9	8.9	10.6	11.1
内 狩猟	6.8	6.8	6.1	6.1	4.4	3.1	4.3	4.4	4.4	3.0	3.0	3.0	3.0
許可	7.5	7.5	8.0	8.0	9.6	7.8	9.5	9.7	9.7	13.3	13.3	15.5	15.5

※メスの捕獲目標は H26 から設定。メスジカの捕獲を積極的に行い、個体数の効率的な削減につなげる。

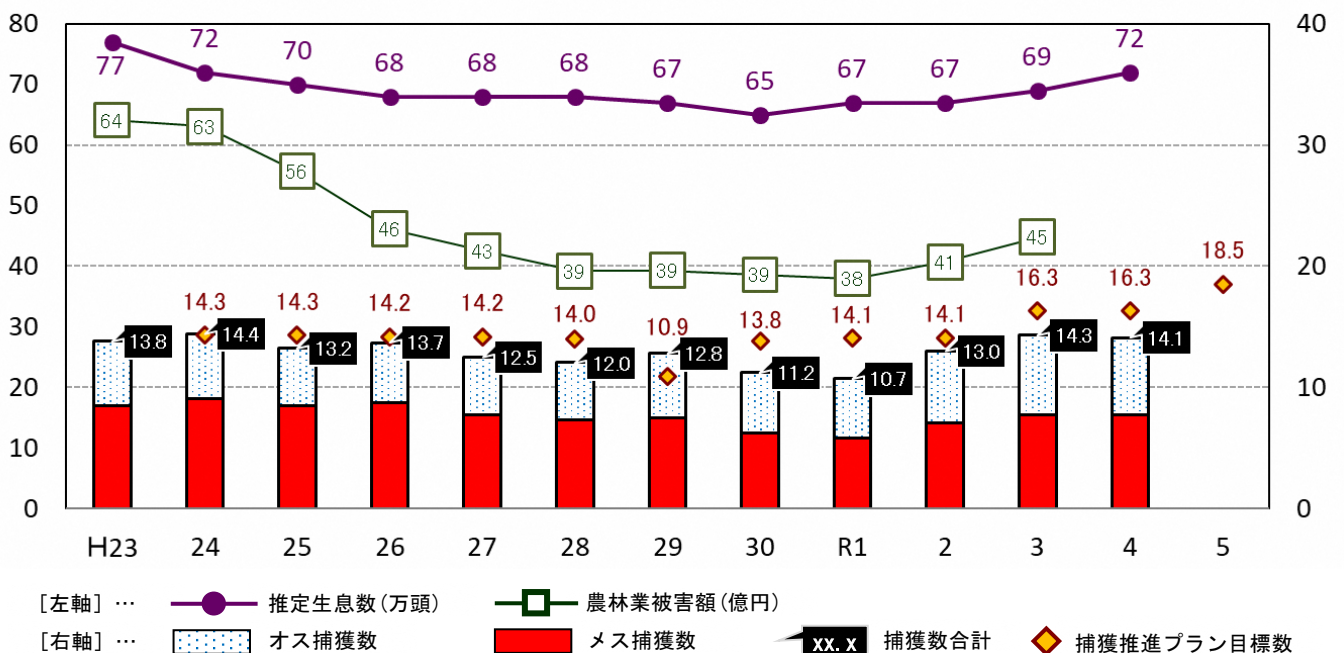
## 4 農林業被害額（全道）

R4. 11. 16 公表（単位：百万円）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
農林業被害額	6,409	6,304	5,563	4,613	4,254	3,917	3,928	3,858	3,797	4,068	4,480
内 農業	6,233	6,056	5,408	4,510	4,152	3,851	3,918	3,799	3,760	4,029	4,441
林業	176	248	155	103	103	66	10	59	37	39	40

## 【推定生息数と捕獲数の推移】

（万頭）



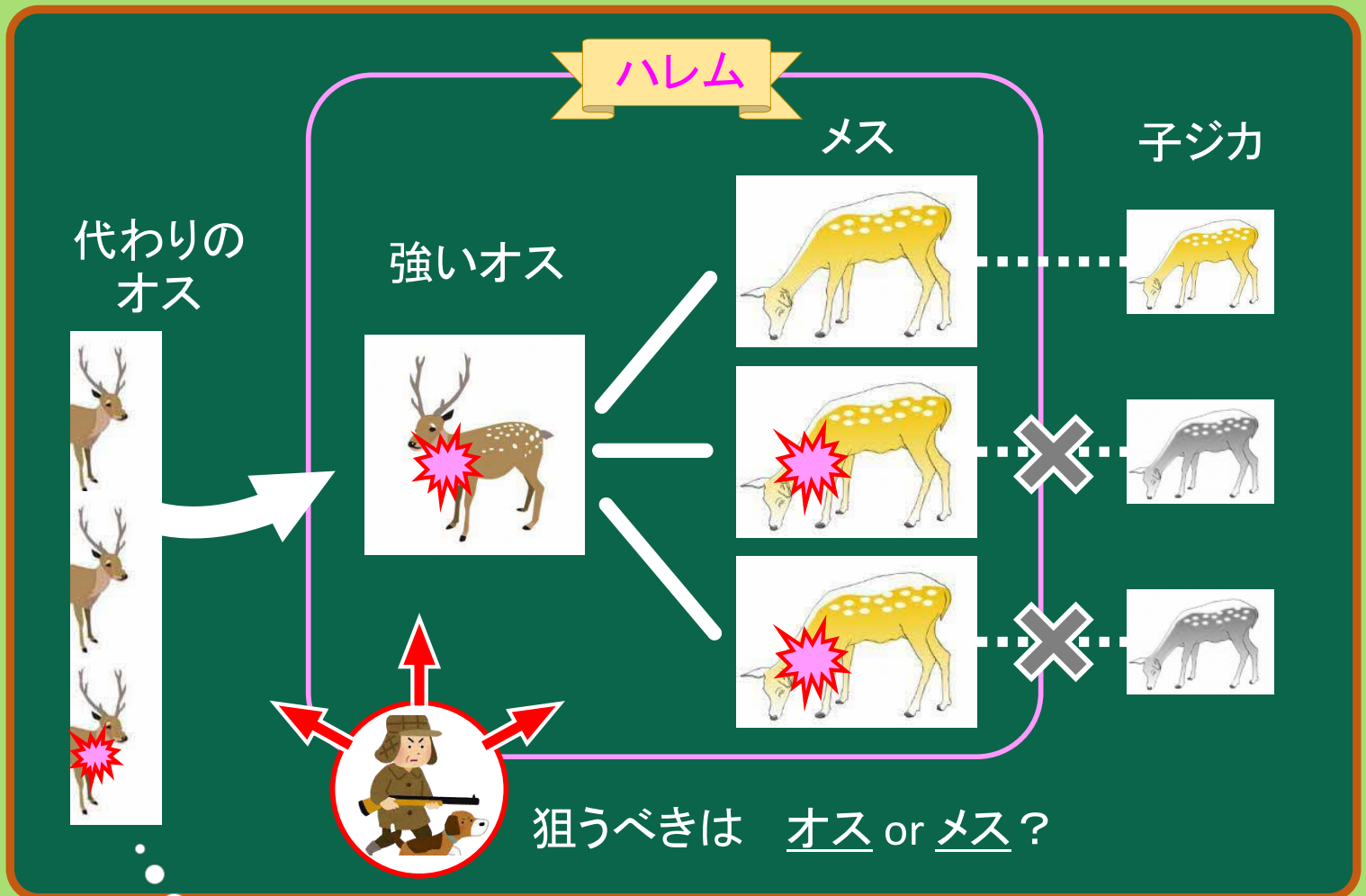
# メスジカの積極的な捕獲を

エゾシカの適正な個体数管理に向けて

北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課

## エゾシカの個体数を減らすには

エゾシカは一夫多妻制で、ハレムを作って生活します。  
メスは、満1歳の秋には性成熟に達し、その翌年の出産期には子ジカを産み、その後、死ぬまでほぼ毎年出産します。年率15~20%程度の高い増加率を示し、もし捕獲をしない場合、4~5年で2倍に増加する計算になります。  
メスを優先して捕獲することで、将来生まれてくる子ジカの数も減らせるため、効率よく減らすことができます。



強いオスの代わりは  
いくらでもいる…

個体数を減らすには  
**メスジカの捕獲を!!**

